





(別紙様式)

「県民協働による未利用材の搬出促進事業」実施団体の事例

ふりがな 団体名	やまがたもっかつ 山県木活クラブ	設立年月	令和5年4月		
構成員数	5名				
構成員数	40代3名 30代2名				
設立目的	山県市内の森林資源を活用する活動を通じ、健全な林内環境保全と地域の活性化をはかることを目的とする。				
団体沿革	令和5年4月 任意団体として設立。現在に至る。				
実績					
年度	R2	R3	R4	R5	R6
過去5か年の 搬出量(t)	—	—	—	33.9	46.7
搬出材の 主な用途	木質バイオマス燃料、チップ				
取組 概要	小型グラブプル及びウインチでの集材、林内運搬車での搬出及び軽車両による工場までの運搬、市内バイオマスチップ事業者への販売を実施。				
効果	林地に残置された間伐材等を集材・搬出することでゲリラ豪雨等をはじめとした山地災害等が発生した際の流出材を抑制し、健全な林地環境の保全に努めることが出来ている。				

安全講習	チェーンソー、刈払機取り扱い安全講習を実施。
地域貢献	<p>林内環境の健全化に対する取り組み</p> <hr/> <p>市内林業事業体に対し、林地内での切り捨て間伐等の事業地の聞き取りを行い、林外搬出を希望される事業地を選出。未利用材を搬出し、健全な林地環境作りに貢献。</p>
<div style="display: inline-block; width: 48%; text-align: center;">【写真1】</div> <div style="display: inline-block; width: 48%; text-align: center;">【写真2】</div>	
	
<div style="display: inline-block; width: 48%; text-align: center;">【写真3】</div> <div style="display: inline-block; width: 48%; text-align: center;">【写真4】</div>	
	

「県民協働による未利用材の搬出促進事業」実施団体の事例

ふりがな 団体名	き 木の駅上石津実行委員会		設立年月	平成23年4月	
構成員数	29名				
構成員数	30代以下:3名、40~50代:9名、60~70代:12名、80代以上:5名				
設立目的	大垣市上石津町の健全な山林保全と、森林資源および人的資源を活用した地域活性化を図るため、必要な事業を行うことを目的とする。				
団体沿革	平成23年4月 任意団体として設立、現在に至る				
実績					
年度	R2	R3	R4	R5	R6
過去5か年の 搬出量(t)	178.5	202.7	184.2	185.3	181.7
搬出材の 主な用途	公共施設の薪ボイラー、薪、チップ				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録した29名の会員が、自分の山や借り受けた対象山林から間伐採した木材を木の駅ステーションに出荷。</li> <li>・出荷された木材は直径と長さを計測し、出荷伝票に記入、提出。出荷量に応じて地域通貨(里山券)で木材代を支払う。</li> <li>・交換業務は事務局と地域のガソリンスタンドが担い、地域にある15の登録店で使用できる。</li> <li>・出荷された材は、会員の手で薪加工し、販売。残材は、チップ業者に売却し財源とする。</li> <li>・薪の販売先は、公共施設の薪ボイラー、地元の薪窯ピザ、キャンプ場、個人の薪ストーブ、焼き物等に利用している。</li> </ul>				
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30代から80代の会員が和気あいあいと山仕事を通じて交流している。</li> <li>・山仕事や、道具の使い方の技術を、伝授したり、スマホ操作を教わったり、懇親会での交流も楽しみになっている。少しの小遣いがもらえるので、やりがいもある。</li> <li>・地域の商店を巻き込み、信頼関係もでき売り上げ増にもなっている。上石津町内という、小さな地域だが、地域内循環ができています。</li> <li>・地元小学校のSDGsの学習に木の駅上石津実行委員会の取り組みも何度も紹介している。</li> </ul>				

安全講習	毎年、会員向けチェーンソー安全、目立て講習を開催	
地域貢献	<p>地域経済の活性化に対する取り組み</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐した材の量、軽トラ2車(約1m<sup>3</sup>)に対し、地域通貨(里山券)を5里山(5,000円)発行する。</li> <li>・上石津町内の15店舗の登録店のみで使用し、飲食、小売り、ガソリンスタンド、理髪、などの費用に充てる。</li> <li>・地域通貨での懇親会も開催し、町外の買い物も、里山券があるから、町内で使おうという購買意欲など、地域経済にも寄与している。</li> </ul>	
	【活動状況】	【活動状況】
		
【チェーンソー安全講習会】	【地域通貨(里山券)】	
		

(別紙様式)

「県民協働による未利用材の搬出促進事業」実施団体の事例

ふりがな 団体名	き えき                      かつどうそしき 「木の駅」INつぼがわ活動組織	設立年月	平成25年10月		
構成員数	30名				
構成員数	30代以下:1名、40～50代:5名、60～70代:24名				
設立目的	山林に放置されている間伐材(林地残材)の搬出活動を通じ、地域の活性化を図ることを目的とする。				
団体沿革	平成25年10月 任意団体として設立、現在に至る				
実績					
年度	R2	R3	R4	R5	R6
過去5か年の 搬出量(t)	554.3	795	599.5	499.6	497.3
搬出材の 主な用途	チップ				
取組概要	「森林が元気に、つぼがわ地域住民が元気に」を合言葉に、山林に放置されている間伐材(林地残材)を「木の駅」集荷場に搬出することで、つぼがわ地域の森林保全や間伐材の利用促進に貢献する活動を行っている。				
効果	・つぼがわ地域の森林保全に寄与している。 ・これまで未利用とされていた資源の有効利用が図れている。 ・搬出活動を通して、構成員間での交流が生まれている。				

安全講習	毎年、安全対策に関する講習会を開催	
地域貢献	<p>地域の森林保全等に対する取り組み</p> <hr/> <p>山林に放置されている間伐材(林地残材)を有効利用することで、災害の防止、林業の活性化、生態系の保全、景観の向上といった多岐にわたる効果をもたらし、地域の森林保全等に貢献している。</p>	
【活動状況】		【活動状況】
		

(別紙様式)

「県民協働による未利用材の搬出促進事業」実施団体の事例

ふりがな 団体名	たかす木の駅会議活動組織			設立年月	平成24年10月
構成員数	18名				
構成員数	70代2名、60代4名、50代6名、40代3名、30代2名、20代1名				
設立目的	郡上市高鷲町の山林保全と森林資源を活用した地域活性化を目的とする。				
団体沿革	たかす木の駅会議活動組織として結成し、現在に至る。				
実績					
年度	R2	R3	R4	R5	R6
過去5か年の 搬出量(t)	201.1	91.5	120.1	204.2	241.6
搬出材の 主な用途	薪、出荷用チップ				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・会員が間伐した材木を高鷲チップセンターに出荷。</li><li>・木材代は地域通貨券で支払い、地域経済の活性化につなげる。</li></ul>				
効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域通貨券を活用することで、地域の商店の売り上げにつながっている。</li><li>・熟練者から、山仕事の初心者までが参加する研修会を年1回開催し、安全や技術に関する講習や交流などをとおして、将来を担う者や中級者の技術向上も行っている。</li></ul>				

安全講習	毎年、安全講習会、県主催安全研修会の内容の周知
地域貢献	<p>地域経済の活性化と、災害の予防</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷量に対して地域通貨券を地域の商店(小売り、ガソリンスタンド、飲食、懇親会、その他地域の活動など)で使用している。</li> <li>・間伐を行うことで、下層植生が豊かになり、森林の公益的機能の維持増進につながっている。</li> </ul>

【写真1】



【写真2】



【写真3】

県研修会参加の様子



【写真4】

地域振興券



※令和7年度廃止